

令和4年度（2022年度）第2回みなみ野中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日 時	令和4年（2022年度）7月31日（日） 9：30～12：00
場 所	みなみ野小学校2階 家庭科室
出席者	参加者：荒井、大倉、大福、大淵、大山、川崎、塩沢、野牧、橋山、山城 はちまるサポート由木：田辺 第一層生活支援コーディネーター：今泉 八王子地域 PAL-ETTE：鎌田 未来デザイン室：今川、野田、橋本 エックス都市研究所：田中、小市、橋爪
配布資料	第2回みなみ野中学校区地域づくり推進会議 資料1 中学校区別ワークショップの結果（みなみ野中学校区） 資料2 みなみ野中学校区（みなみ野地区）の地域づくりに関するアンケート調査結果 資料3 長房中学校区地域づくり推進計画抜粋 資料4 川口中学校区地域づくり推進計画抜粋 ワークシート「会議の進め方について考えよう」

1 開会

未来デザイン室より挨拶。

2 議題「令和4年度（2022年度）みなみ野中学校区地域づくり推進会議についてみんなで考える」

（1）地域づくり推進計画策定に向けたスケジュール

会議資料をもとに、地域づくり推進会議（以下「推進会議」という。）の目標、地域づくり推進計画（以下「推進計画」という。）策定までのスケジュール、令和3年度（2021年度）までの取組内容について確認した。質疑の内容は、以下のとおり。

<質疑内容>

- ・第3回から第6回に向けて、検討を積み上げていくものと考えられるが、グループワークは固定メンバーにするのか。

⇒この後、グループごとに会議の進め方を検討するので、その中で固定メンバーにするか、毎回シャッフルしたメンバーにするかを話し合ってください、最終的には全体で決めていただきたい。

（未来デザイン室）

（2）会議内容等の企画

会議資料をもとに、本日の検討内容について確認した。その後、2グループに分かれ、令和4年度（2022年度）に開催する第3回目から第6回目までの各回における議題や取り組み方、参加者の役割について検討した。各グループでの検討結果は、以下のとおり。

<検討結果>

1) Aグループ

① 各回の議題や取り組み方について

○第3回

- ・中学校区別ワークショップで検討した「地域のありたい姿」を、原案として検討すると良い。
- ・中学校区別ワークショップのワークのまとめなど、過去に出された意見を検討材料として活用する。各自資料を持参すると良い。手元がない参加者は、持っている参加者と共有すれば良い。
⇒地域カルテやアンケート結果などの成果物も、有効活用すると良いのではないかと。(エックス都市研究所)
- ・2040年の将来をいきなり検討することが難しいのであれば、2030年ごろ、2040年ごろと大きく分けて検討しても良い。
- ・将来ビジョンをいくつかの大きい目標やテーマにしてまとめると、アクションプランが検討しやすくなるのではないかと。

○第4回

- ・推進計画を策定した先行事例をモデル地区の参加者に紹介してもらい、検討する際のコツを教えてもらってはどうか(例えば、川口中学校区地域づくり推進会議参加者)。
- ・地域資源は、地域カルテに掲載されている。地域資源を活かした取組みを検討できるよう、地域カルテを活用してはどうか。

○第5回、6回

- ・第5回では、第4回で出された意見や、事前に将来ビジョンやアクションプランについて、家族や知り合いに聞き取りをし、その意見を持ち寄ってはどうか。持ち寄った様々な意見を共有して、アクションプランの取りまとめ案をつくる。
- ・第6回は、将来ビジョンとアクションプランを、あわせて取りまとめる。

② 会議の役割や運営について

- ・役割としては、意見を引き出しながら進行するファシリテーター、付箋等を使って意見を書き留める板書係、とりまとめた会議の結果を記載する記録係がいるのではないかと。
- ・記録係は、「決まったこと」、「決まらなかったこと」、「新しく決めたいこと」を簡単にメモする。
- ・役割は持ち回りにしてはどうか。
- ・ファシリテーターは、まずは、得意な参加者に担ってもらってはどうか。
- ・第3回、第4回は、グループで話し合いを行い、意見を出し合う。第5回、6回はまとめの作業になるので、グループワークはせず、会議全体で話し合うと良いのではないかと。

③ 推進計画と八王子未来デザイン 2040 との関係について

- ・策定中の八王子未来デザイン 2040 と、推進計画との関係はどのようになっているのか。推進計画は、長期ビジョンの柱に沿って検討すべきではないのか。
⇒地域それぞれの課題は、地域の実情に応じて解決していくことが必要と考えており、八王子未来

デザイン 2040 の中では、「未来を拓く原動力」として「地域自治」を掲げている。これは、これから検討する推進計画や、推進計画に基づく取組も含まれている。みなみ野にお住まいの参加者の視点から、地域の実情にあった推進計画の検討をしてほしい。(未来デザイン室)

⇒他の中学校区との共通テーマについては、第3回で担当所管課から市の考え方を説明するので、推進計画を検討する参考にしていただきたい。(未来デザイン室)

④ その他、活動の進め方、主体など

- ・住民でできることは限られている。市に担ってもらわないと難しい取組みはどのようにするのか。
⇒まずは、地域のまちづくりにとって必要なことを検討してほしい。その中で、地域でできることを明確にするために、住民だけでなく、市が担うべきものなど、取組み主体別に整理してはどうか。(エックス都市研究所)
- ・推進計画を検討するのは良いが、推進会議の参加者だけでできるとは思えない。
- ・日常的に地域で集まって、地域課題などを共有できる場が必要ではないか。仲間を増やせるような場があると良い。
⇒アクションプランを設定した後、どのような体制で活動に取り組んでいくかについて検討する予定。推進会議の参加者だけでなく、住民や地域にゆかりのある組織・人材にも参加してもらうことが重要になってくる。(エックス都市研究所)
- ⇒第4回から第5回にかけての宿題として、知り合いや家族のほか、将来的なネットワークづくりを見据えて、活動でつながることができそうな人材や団体の意見を聞くことが考えられる。(エックス都市研究所)

2) Bグループ

① 議題や取組み方について

○第3回の検討内容について

- ・これまで推進会議で検討してきた蓄積がある。地域カルテもよくまとまっており評判もよい。まずは、この推進会議参加者の情報とネットワークを生かして、将来ビジョンの案を作成し、補足や強化すべきことを明らかにして、その部分の意見を関係する団体や組織に聞くことも考えられる。
- ・以前のワークショップでみなみ野中学校区のありたい姿が示されているので、これをベースにしていきたい。具体性のある将来ビジョンにしていきたい。
- ・多世代の意見を聞くことが必要。特に若い世代、30～40代の現役世代は多忙な世代であり、どのように意見を聞くか、どのような関わりをつくっていくかが課題である。そのきっかけとして、アンケート調査の結果も活用できる。

○第4回に向けての進め方について

- ・若い世代の意見を聞くことが大切であるが、まずは聞く内容を絞らないと答える方も答えにくいと思う。まずはこの参加者で将来ビジョンの案を検討して、その中でヒアリングすることを絞っていくことが考えられる。
- ・第3回はこれまでの成果物を活用して、将来ビジョンの案を検討するなかで、意見を聞くべき対象と内容を明らかにする。第4回に向けて、参加者の有志が、事前にヒアリングをして情報を収集し、第

4回で情報共有できるとよい。地域からどれだけ情報やアイデアを引き出せるかが大事だと思う。

②会議の役割や運営について

- ・今後の推進会議の運営は、参加者の欠席もあるので、各回の出席者により、進行、記録、発表の役割をその場で決めていく方がよい。
- ・今後の推進会議も、このようなグループワークを行い、できるだけ多くの意見を出し合った方がよい。毎回グループのメンバーが変わってもよいと思う。

③推進計画について

- ・アンケート結果をみると課題が多く、これをベースに検討すると課題が目立ってしまう。みなみ野は良いところが多くあるので、課題解決型の計画も大切であるが、地域をアピールしていくような計画にしていきたい。
- ・この推進会議参加者のみで推進計画を作成するのは難しいと思う。地域の意見や市の協力も含めて検討していきたい。

④その他の意見

- ・町会では様々な活動をしているが、なかなか参加者が増えない。町会加入者も増えない。そのような状況でも、地域の人材を発掘しながら、活動を進めている。まちのイルミネーションでは大学生の協力を得て行っており、連携を深めていきたいと考えている。何をやるにも人材づくりが大切だと思う。
- ・地域の方々が気軽に意見交換ができる場が大切であり、町会等が中心となった「みなみ野会議（仮称）」みたいな場がつけられるとよいかもしれない。この推進会議も自由な意見交換ができるような雰囲気運営していきたい。
- ・地域の中だけでは解決できないようなことについては、他地域との意見交換をしてみると良いかもしれない。新たなネットワークや人材が生まれるかもしれない。
- ・必要に応じて市民協働やコミュニティ施策を担当する、協働推進課に参加してもらってはどうか。

3) まとめ

AグループとBグループで検討した内容を発表し、意見交換をした結果は以下のとおり。

<次回以降の進め方について>

～将来ビジョンの検討について～

- ・過去の資料をベースにして将来ビジョンを検討する。過去の資料は各自持参する。
- ・グループごとのワークショップ形式で検討する。ファシリテーター、板書の記録・発表をする人は、グループ内で話し合いの前に決定する。
- ・2030年と2040年を目安に検討してみる。
- ・まずは推進会議の参加者で話し合い、将来ビジョンの案を検討するが、その中で何が重要か、何が意見として不足しているかを共通認識として確認する。
- ・次回までに、各自、将来ビジョンに必要なキーワードや思いなどを考えておく。

～アクションプランの検討までのヒアリングについて～

- ・アクションプランの検討において、情報として不足していること等を関係する団体などにヒアリングを行う。
- ・ヒアリングをしてみたい団体などを話し合い、有志でヒアリングを行う。会議の開催時間内に行うことは難しいので、自主活動として取り組んでもらう。ヒアリング結果は第4回の会議で報告し、意見交換を行っていく。ヒアリングをしたい団体にアポイントが取りづらい場合は、市から依頼する。

～アクションプランの検討について～

- ・第4回では、参加者各自の情報やヒアリング結果などを受けて、アクションプランの検討を行うが、具体的にどのような人がアクションプランを担っていくのかなど、さらに内容を詰めていくためには、第5回に向けて、再度、ヒアリングを実施することも考えられる。会議の型式は、ワークショップ形式行う。
- ・第5回では、アクションプランのまとめをしていきたいが、検討状況によっては長引くかもしれない。会議の形式については、検討状況により、全体で検討する形も考えられるが、その時点の様子をみてから方法を考える。
- ・第6回では、将来ビジョンとアクションプランの中間的なまとめを行うことを目標とする。

4 情報交換「みんなにシェア・みんなでシェア」

- ・みなみ野自然塾では、みなみ野のまちの誕生についてのシンポジウムを、当時まちの開発に関わっていたUR都市機構の方々と共同で、来年の3月に開催したいと考えている。
- ・みなみ野君田小学校の放課後子ども教室では、9月17日の10時から、サタデースクールを実施する予定である。内容は、北海道白糠のアイヌ保存会の方によるアイヌ文化体験で、子どもたちにアイヌの歌、お話、楽器の演奏などを聞かせてもらう予定である。参加される方は申し込みを。
⇒チラシのデータを市に送っていただき、市から各参加者にメールで送付する。(未来デザイン室)
- ・「市長と語る」を8月21日に開催する。テーマは、「私が行っている八王子の地域づくり」であり、地域で行っている活動や地域づくりに必要なことを話し合う予定である。事前の申し込み期間は過ぎてているが、当日YouTubeで配信するので、是非見ていただきたい。(未来デザイン室)
- ・前回の推進会議で、今年度の追加参加者について、外国人、子育て世代、学生が挙げられた。学生については、大学コンソーシアム八王子を介して東京工科大学と調整中であるため、次回以降調整結果を報告させていただく。他の候補については、関連団体に問い合わせをしたが、紹介が難しいとの話であった。皆さんのつながりでご紹介していただきたい。(未来デザイン室)
- ・参加者のつながりで、推進会議の話を知りたい人や地域に興味がある人などに、一度推進会議を見学してもらい、話し合いの様子を見てもらってから、次の参加につなげていくことも考えられる。代理参加を可能とすることもできるので、皆様に負担がかからない方法で参加者を増やしていきたい(未来デザイン室)

5 閉会

次回の推進会議の日程等の確認を行った。

第3回：令和4年（2022年）8月27日（土）9：30～12：00 みなみ野小学校2階 家庭科室

※次回の資料として、本日配付した資料1「中学校区別ワークショップの結果(みなみ野中学校区)」、資料2「みなみ野中学校区(みなみ野地区)の地域づくりに関するアンケート調査結果」、地域カルテをご持参願いたい旨、あわせて周知した。

以上

～会議の進め方について考えよう～

2040 ビジョンとの関係は？

↑
A
B
個別
↓
↑
全体
↓

	議題(例)	議題(案)	会議の取組み方(案)	役割(案)
第3回	<p>～ビジョンの検討～</p> <p>①ビジョンのキーワードだし →2040年のあるべき姿をイメージしながら、中学校区別ワークショップで取りまとめた「地域のありたい姿」を具体的にしよう</p> <p>②ビジョンの柱を決める →出したキーワードを5～6分野に 大目標・テーマ ビジョンを深掘しよう</p> <p>③ビジョンの決定 検討 →各グループでまとめたビジョンを発表 →ビジョンの俳句を考えよう</p>	<p><観点></p> <p>2040 ↑ 2030 (5年先まで)</p> <p>中学校区別ワークショップを原案にする。</p> <p>※配布資料1 中学校区別ワークショップの結果(抜粋)を掲示</p>	<p>①過去資料 持参</p> <p>②無いものは 誰かのもの共有</p> <p>地域カルテ アンケート結果 含む</p> <p>これまでの検討を活用(ワークシート)</p>	<p>①ファシリテータ(持ち回り)</p> <p>②板書補佐(〃)</p> <p>③記録係(〃) ・決まったこと ・持ちこしたこと ・新たに決めたいこと</p> <p>できそうな方だけでもよいか</p>
第4回	<p>～アクションプランの検討①～</p> <p>①アクションプランの検討 →ビジョンを実現するための取組は？ →この取組は自分たちだけで今できる？できない？ →できないことはどうする？どんな協力があると良い？</p>	<p>①事例紹介</p> <p>②アクションプランの検討</p> <p>③取り組み主体の検討</p> <p>市が取り組む必要があるものもある</p> <p>住民にできることは限られている</p> <p>自分たちでできることを考える上で</p>	<p>○先行事例紹介 (川口地区 etc.) ⇒進め方のコツ伝授</p> <p>○地域カルテ (資源)を有効に活用</p>	<p>〇〇〇〇 (ヒアリング先。個人名の記載、省略)</p> <p>宿題</p> <p>知り合い 家族の意見</p>
第5回	<p>～アクションプランの検討②～</p> <p>①アクションプランの検討(前回の続き) →2040年のあるべき姿の実現に向け、5年後までに<u>取り組むべきこと</u>を検討</p>	<p>多様な意見共有 →まとめ案</p>		<p>つながることのできそうな人材・団体……つてネットワークなど</p>
第6回	<p>～中間とりまとめ～</p> <p>①2040年のあるべき姿と、これを実現するアクションプランの案のとりまとめ →中間報告案としてとりまとめる</p>	<p>次のステップ(次年度)</p> <p>まとめ</p> <p>どのように進めていくかが重要</p>	<p>集まる場が必要</p> <p>市協働推進課の参加を</p>	

～会議の進め方について考えよう

	議題(例)	議題(案)	会議の取組み方(案)	役割(案)
第3回	<p>～ビジョンの検討～</p> <p>①ビジョンのキーワードだし →2040年のあるべき姿をイメージしながら、中学校区別ワークショップで取りまとめた「地域のありたい姿」を具体的にしよう</p> <p>②ビジョンの柱を決める →出したキーワードを5～6分野に分類して、ビジョンを深掘しよう</p> <p>③ビジョンの決定 →各グループでまとめたビジョンを発表 →ビジョンの俳句を考えよう</p>	<p>ありたい姿をベースに</p> <p>カルテ・アンケートを土台にしていく</p> <p>カルテは人気があるよくまとめられている</p> <p>具体性のあるビジョンを！</p> <p>これまでの検討成果をベースにビジョンを検討</p> <p>若者たちの将来は？</p> <p>30～40代の人たちの20年後</p> <p>課題ばかりでないビジョンで地域をアピール</p> <p>アンケートの結果課題ばかりでなく</p> <p>ビジョンは行政からも示してほしい</p>	<p>出来るだけ声を拾えるような小グループの会議体が望ましい</p> <p>グループごとに意見を上げてもらう</p> <p>自由な楽しい雰囲気</p> <p>グループごとにフリーに検討 自由意見の場</p> <p>多くの住民の声を入手出来る工夫をすべきでは</p> <p>多世代の意見を入れたい</p> <p>この会議体の意見が全体を反映していると言えるか疑問</p> <p>各メンバーの各組織団体から意見を集める</p> <p>若者・現役世代の意見を吸い上げるためのしかけを！</p> <p>アンケート結果を活用</p>	<p>継続性 (毎回会議に出席できない)</p> <p>その都度役割を決める ・進行役 ・記録・発表</p>
第4回	<p>～アクションプランの検討①～</p> <p>①アクションプランの検討 →ビジョンを実現するための取組は？ →この取組は自分たちだけで今できる？できない？ →できないことはどうする？どんな協力があると良い？</p>	<p>[多世代]の人の声を聞くこと 学生と地域との連携の仕方</p> <p>声を聞くことが大切 プラットフォーム</p>	<p>ワークショップが基本 ↓ 会議形式も柔軟に対応</p>	
第5回	<p>～アクションプランの検討②～</p> <p>①アクションプランの検討(前回の続き) →2040年のあるべき姿の実現に向け、5年後までに取り組むべきことを検討</p>	<p>みなみ野らしい人のつながりの仕組みづくりが必要</p>		
第6回	<p>～中間とりまとめ～</p> <p>①2040年のあるべき姿と、これを実現するアクションプランの案のとりまとめ →中間報告案としてとりまとめる</p>	<p>みなみ野をアピールする人材。地域にはいない</p> <p>38地区の交流が必要</p> <p>町会を中心に集まるワークショップ+ボランティア</p> <p>何をやるにも人材作りが大切</p> <p>地域からどれだけアイデアを引き出せるかが大事だと思う</p> <p>学校との連携。学生をまき込む地域活動への参加 イルミネーション</p> <p>学生との連携 学校の協力</p> <p>すき間をつなぐ活動 ワークショップを活用</p> <p>推進会議ごとの横のつながり、意見交換</p>	<p>誰でもいつでも参加できる「みなみ野会議(仮)」づくり</p>	

～会議の進め方について考えよう～

	議題(例)	議題(案)	会議の取組み方(案)	役割(案)
第3回	<p>～ビジョンの検討～</p> <p>①ビジョンのキーワードだし →2040年のあるべき姿をイメージしながら、中学校区別ワークショップで取りまとめた「地域のありたい姿」を具体的にしよう</p> <p>②ビジョンの柱を決める →出したキーワードを5～6分野に分類して、ビジョンを深掘しよう</p> <p>③ビジョンの決定 →各グループでまとめたビジョンを発表 →ビジョンの俳句を考えよう 予定:8/27</p>	<p>○過去の資料⇒中学校区WSをベースにする</p> <p>○テーマ・大目標</p> <p>○2030/2040年の検討</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○何が重要か</p> <p>○何が意見として不足しているか 共通認識に</p> </div>	<p>○グループごとの話し合い</p> <p>○過去の資料を持参(WSなど)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○聞きたいことを聞きに行く・先行地域?</p> <p style="text-align: right;">●実施</p> </div> <p>○報告</p> <p>○ワークショップ</p>	<p>○ファシリテーター</p> <p>○板書</p> <p>○記録 (共通事項)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○聞いてみたい!!と思う人が聞く。報告。</p> <p>※必要に応じて市から依頼も。</p> </div>
☆次回の企画				
第4回	<p>～アクションプランの検討①～</p> <p>①アクションプランの検討 →ビジョンを実現するための取組は? →この取組は自分たちだけで今できる?できない? →できないことはどうする?どんな協力があると良い? 予定:10/22</p>	<p>○アクションプランの検討</p>	<p>さらにワンアクション</p> <p style="text-align: right;">●実施</p>	
☆次回の企画				
第5回	<p>～アクションプランの検討②～</p> <p>①アクションプランの検討(前回の続き) →2040年のあるべき姿の実現に向け、5年後までに取り組むべきことを検討 予定:1/28</p>	<p>○アクションプランまとめ どのような人が担うのか</p>	<p>○様子をみながら検討方法を考える。</p>	
☆次回の企画				
第6回	<p>～中間とりまとめ～</p> <p>①2040年のあるべき姿と、これを実現するアクションプランの案のとりまとめ →中間報告案としてとりまとめる 予定:3/11</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>ビジョンプランまとめ</p> </div>		